

令和6年度 第3回香美市立中央公民館運営審議会 議事録要旨

開催概要

- 開催日時: 令和7年3月3日(月) 14時00分～16時00分
- 開催場所: 香美市中央公民館 3階視聴覚室
- 主な出席者: 委員5名、事務局3名

議題と主な議論

1. 令和6年度中央公民館事業の実績について

- 全体概略
コロナ前の利用状況に戻りつつあり、新規利用者も増加している。また、令和7年1月から貸館基準や使用料減免に関する条例改正を施行する旨説明。
- 市民大学
市民大学の開催実績を報告。森下嘉晴氏による「香美市の山里たんね歩き」は定員に対し80%程度の参加率、阪神救助犬協会相良順子氏による「犬と共の命を繋ぐ」は50%程度の参加率であった。
以前は4講座あったが、予算の関係で現在は2講座となっているため、人権講座は隔年開催とし、健康に関する講座は市民セミナーで開催するなど、参加しやすい工夫をしている。また、次年度の市民大学は「あんぱん」関連講師招致について、早期の講師確保や開催時期の検討を進めていることを事務局より報告。
委員より、健康に関する講座への関心が高いことから、今後も継続をとの要望がある。
- 市民セミナー
「ものづくり教室」「教養・体験教室」「健康教室」「スマホ教室」「英語教室」の開催を報告。参加者の年齢層の偏り(高齢者が中心)を解消するため、幅広い年齢層に対応した内容や、土日開催の検討等が今後の課題。
- 人材バンク「まちの先生」
新規登録(3件)及び利用実績(7件)を報告。
手続きの煩雑さから利用者は例年並みであることを報告。
委員より、今後の利用拡大としてスクールソーシャルワーカーとの連携を検討してはとの意見あり。また、小中学校の総合学習や子育て支援センターでの活用が期待されており、リストの活用や分かりやすい紹介方法の工夫が提案された。
- 放課後子ども教室推進事業
将棋・囲碁教室、科学教室、夏休み教室、書き初め大会等、開催事業の実績を報告。
今後、科学教室については山田高校との連携継続や補助要員の確保が課題であり、高校生への補助要員募集も検討していることを説明。

2. 令和6年度各地区公民館事業実績報告について

各地区公民館の事業実績の報告。

各館、運営審議委員と相談しながら活動しているが、高齢化により活動が困難な公民館もある。また、コロナ禍で地域の学校との関係が疎遠になった公民館もあり、今後

別の形でアプローチを検討する予定。

香北地区公民館について、令和7年1月1日より、暁霞地区公民館と美良布地区公民館が統合し「香北地区公民館」となり、暁霞地区公民館で開催していた事業は五百蔵の自治会公民館を借りて活動を継続している。

繁藤地区公民館は高齢化と住民数減少により活動が運営審議会のみとなっているが、来年は折り紙教室などを検討中。

委員より、社会情勢の変化、高齢化・少子化による人口減、職員数減少といった厳しい状況下でも、公民館は地域の人々の学習の場、居場所、繋がりを創出する場所として、住民が参加しやすい事業を展開していくことが重要との意見が出された。

3. その他

ホールと3階会議室のエアコンが故障し修繕を予定している。ホールについては令和7年の市民大学までに空調を入れ替える予定のため、5～8月頃まで貸館を停止予定。3階会議室については、本年度末までに修繕予定。